

第6学年 国語科学習指導案

日時 令和5年6月20日（水）第5校時

場所 6年教室

授業者

1 単元名「具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書こう」

教材名「私たちにできること」

2 指導の立場

本単元では、自分達の考えを相手に正確に伝えるために、筋道の通った文章になるよう、文章全体の構成や展開を考えることができるようになることを目指す。分かりやすく説得力のある文章にするためには、記述前に構成をよく検討する必要がある。児童は「情報と情報をつなげて伝えるとき」の学習で、情報と情報との関係付けを意識して文章を書くことで、相手に分かりやすく伝えることができることを学習している。本単元ではその学習を活かして、相手に納得してもらえるような文章にするにはどのような要素が必要なのか、どの順番で書くとよいのか、ということを考えさせたい。

本教材は、身の回りの環境問題について、学校でできる解決方法を文章で提案するものである。環境問題の実態や、学校の実態、そしてその解決方法についてグループで話し合いながら文章にまとめていく。単元の導入で、児童に衝撃を与えるような環境問題の実態を提示することや、アンケートをもとにテーマ別でグループを決めることを通して、言語活動の目的意識を児童にもたせたい。

3 児童の実態

本学級の児童は、小集団での話し合いなどで、活発に自分の考えを話すことができる。しかし、ただ自分の考えを通そうと何度も伝えるだけのことや、相手の考えを否定するような発言に終始してしまうことが多く、自分の考えを広げ、深めていくことができていない。

そこで、本時ではグループで話し合い、意見をまとめる活動の中で意見のポジショニングを行うことを位置付けた。ただ仲間の意見を聞いて、それがよいか悪いかを判断するのではなく、「実現可能かどうか」、「それが効果的か」の視点から考えさせる。非常に効果的だが、実現が難しい提案を却下するのではなくどうにかして実現可能な手段に改善できないかと考えを深めさせたい。また、前時に交流のための資料を用意する時間を設定することによって、自分の意見を仲間に伝えるためにどうすればよいかを考える機会を用意する。

4 研究内容の視点に関わって

【研究内容】言語活動を通して、力を付けるための単元構成の工夫

本単元では、身の回りの環境問題について、学校でできる解決方法を提案する文章にまとめるということを言語活動として設定している。そのために、導入で教師が選んだ環境問題の概要を提示し、興味をもたせる。部会テーマにある、「楽しくて、力が付く言語活動」のために児童がより興味のあるテーマで言語活動が進められるように、自分が調べたい環境問題をアンケートで聞き、それによってグループ分けを行う。

また、ロイロノートを活用して言語活動を進めていく。提案文書をグループで作成する段階では、共有ノートを用い、文章の構成について常に意識しながら活動を行うことで、単元の目標である「文章全体の構成や展開を考える」ことにつなげていきたい。

5 指導計画 第6学年 「私たちにできること」(全9時間)

単元目標

- ◎筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えることができる。(思B(1)イ)
- 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。

【言語活動】

具体的な事実や考えをもとに、提案する文章を書き、発表する。

第1次	<p>①学習計画を立て、環境問題について調べる。</p> <p>提案する文章を書く計画を立て、環境問題について調べよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境問題について提案する文章を読み、活動の出口をつかむ。 ・身の回りの環境問題について調べることで、活動の目的意識をもつ。
	<p>②提案する文章の特徴を確かめ、グループでテーマを決める。</p> <p>提案する文章とはどんなものか考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が作成したものや、教科書の手本を見て、その書き方について理解する。 ・前時調べた環境問題の中で、どれについて提案する文章を書きたいか、アンケートを取りグループを決める。
第2次	<p>③④提案のための資料を収集する。</p> <p>提案のために必要な資料を集め、解決方法を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて、教師からウェブサイトや新聞記事などを提示する。 ・調べ続けるのではなく、グループに持ち寄って報告する時間をつくる。 ・次時のために簡易的なプレゼンを作成する。
	<p>⑤グループで、具体的な提案内容について話し合う。(本時)</p> <p>解決方法をグループで交流し、グループで提案内容をまとめよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「実現可能かどうか」、「その提案が本当に効果的か」という2つの観点で意見を出し合う。 ・交流の中で自分の考えを広げ、まとめる。
	<p>⑥グループで、提案する文章の構成を考える。</p> <p>より伝わるようにするための構成を考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの提案内容がより伝わるために、どのような構成にするのがよいか考える。 ・構成メモを用いて、簡潔に整理する。
第3次	<p>⑦⑧グループで分担し、提案する文章を書く。</p> <p>グループで協力して、提案する文章を書こう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時の構成メモを基に分担をする。 ・ロイロノートの共有ノートを活用して、それぞれが同時に進めていく。 ・互いの文章を確認する時間を定期的にとり、推敲する。
	<p>⑨提案書を読み合い、感想を交流する。</p> <p>提案書を読み合って、よいと思う点を伝えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートで提案書が読めるようにし、感想も送れるようにする。 ・実行可能な提案については実際にできるようにする。 ・本単元で学んだことを振り返る。

6 本時のねらい

自分の考えた環境問題への解決方法についてグループで交流することを通して、自分の考えや仲間の考えを広げたりまとめたりすることができる。

7 本時の展開

過程	学習活動と内容（ 教師の発問 児童の考え）	指導上の留意点
導入	<p>1 課題設定</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 解決方法をグループで交流し、グループで提案内容をまとめよう。 </div> <p>◎今日は報告ではなく、交流です。何が違いますか。 ◎伝えるだけではなくて、他の子に意見を聞きます。 ◎迷っているところを仲間に相談します。</p>	<p>・報告ではなく、交流であることを話し、ただ自分の考えを発表して終わるのではなく、自分の考えを深めていくことを意識づける。</p>
展開	<p>2 自分の調べてきた環境問題の現状と、その解決方法をグループで交流し、提案内容を2つに絞る。</p> <p>◎前回の授業までで調べてきたことや考えてきた解決方法についてグループで話し合い、グループの提案内容を2つに決めましょう。他の人の提案を聞くときは、実現可能かどうか、またそれが効果的かについて考えて意見を出しましょう。</p> <p>【交流の進め方】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ロイロノートを使い、仲間の意見を2つの視点から座標軸に位置付け、検討する。 ・前時に作成したロイロノートのカードを用いて、自分の提案内容を説明する。 <p>◎電力不足を解消するために、移動教室の時に電気や扇風機を消すように呼びかけるポスターを教室に掲示すると思います。理由は、いつでも目に入るようにしておくと思えることができると思うからです。</p> <p>◎ごみ問題を解決していくために、リサイクルマークの意味について全校に伝えたいと思います。理由は、マークの意味を知っていればそれがついた商品を選ぶ人もいると思うからです。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>研究の視点(2)② ロイロノートの思考ツールを用いて、「実現可能かどうか」、「その提案が本当に効果的か」の視点から仲間の意見をポジショニングする。</p> </div> <p>・板書で、「実現可能かどうか」、「その提案が本当に効果的か」という2つの観点を位置付け、児童が確認できるようにする。</p> <p>・机間指導で、仲間の提案に対して意見が出ていないグループには、2つの観点をもう一度示し、意見が出るようにする。</p>
終末	<p>3 話し合いを通して、自分の意見について振り返る。</p> <p>◎今日の話し合いの中で、自分の考えについて振り返りましょう。</p> <p>◎学校にポスターを掲示するという提案をしたけれど、仲間の「それだけでなく同時に呼びかけもおこなった方がよい。」という意見を聞いて、そちらの方が効果的だと分かった。</p> <p>◎節電のために、移動教室の時の扇風機や電気の切り忘れについて呼びかけをするという提案をしたけれど、仲間と一緒にどうすればより効果的な提案になるか話し合い、各教室にポスターを掲示しようと考えた。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>研究の視点(3)① 自分や仲間の考えの深まりについて振り返ることで、自己の高まりを自覚できるようにする。</p> </div> <p>・グループの中で深まった考えがあればどのことについて振り返ってもよいこととする。</p> <div style="border: 2px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>〈評価規準〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いを通して深まった自分の考えについて振り返りが書けている。 ・目的や意図に応じて、集めた材料を分類したり関係づけたりして、伝えたいことを明確にしている。 </div>